

科目名 Course Name	ボランティア概論 Introduction to Voluntary Action				ナンバリング No.	A2-004	
年次	1年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名							
連絡方法	C-Learning に対応。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2、DP4						
授業の概要と到達目標	<p>ボランティア活動の大切さを知り、より良い社会を作るために何ができるか考えて、自らボランティア実践できる様な態度を育成し、ボランティア活動に関する基本的知識を理解させる。</p> <p>①ボランティアとボランティア活動の意味を他者に説明することができるようにする。 ②ボランティア活動の機能による分類の利点を他者に説明することができるようにする。 ③特定非営利活動促進法の要点を他者に説明することができるようにする。 ④ボランティア・コーディネーターの定義と役割を他者に説明することができるようにする。 ⑤地域福祉に関わる課題の解決案を考えることができるようにする。</p>						
授業の方法	講義形式で行うと共に、あるテーマについてのディスカッションを行い、自ら考え説明できるようにする。課題の解決案をプレゼンテーションさせる。						
学習成果	L01						
	L02	ボランティア活動の意味を認識して実践できる。 NPO法人を作るための手がかりを得ることができる。					
	L03	地域福祉に関わる課題の解決案を作ることができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	課題は講義中に返却する。						
教科書/参考図書	【教科書】大阪ボランティア協会編・発行 『テキスト市民活動論 ― ボランティア・NPO の実践から学ぶ ― 第2版』 ISBN : 978-4873080703						
履修上の留意点やルール等	極力休まないこと。ノートをとること。積極的に討論に参加すること。私語はしないこと。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に的確に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。		30		
レポート/作品	地域福祉に関する課題の解決案の提出。基準は別途説明。			30	
発表					
小テスト					
試験	到達目標に示した内容に関する基本的事項を説明できるかどうかをペーパーテストにより尋ねる。中心的意味が説明できれば加点する。 筆記試験により重要事項の理解について確認する。 成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59		40		
その他					
合計			70	30	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス
	事前・事後学習	今後のやるべきことの全体を整理する。
2	授業内容	ボランティアの理念
	事前・事後学習	ボランティアの要点を整理して理解する。
3	授業内容	ボランティアの今日的意味
	事前・事後学習	社会におけるその重要性・意義を整理して理解する。
4	授業内容	ボランティア活動の分類
	事前・事後学習	多方面にわたる様々なボランティア活動について整理して理解する。
5	授業内容	ボランティア活動の現状（1）
	事前・事後学習	ボランティア活動を取り巻く様々な問題点について調べる。
6	授業内容	ボランティア活動の現状（2）
	事前・事後学習	ボランティア活動における先進性という視点から調べる。
7	授業内容	CSR、メセナ、フィランソロピー
	事前・事後学習	CSRが重要視される背景と、その重要性について整理して理解する。
8	授業内容	NGOとNPO（1）、概念整理 世界のNGO
	事前・事後学習	世界のNGOについて調べる。
9	授業内容	NGOとNPO（2）、日本のNGO、NPO。
	事前・事後学習	日本で活躍するNGO組織について調べる。
10	授業内容	NPO法
	事前・事後学習	NPO法が作られたことによるメリットと、NPO法人の立ち上げ方について確認する。
11	授業内容	ボランティア・コーディネーターとボランティア・アドバイザー
	事前・事後学習	その重要性について、整理する。
12	授業内容	中間支援と中間支援組織
	事前・事後学習	中間支援組織の重要性について整理する。
13	授業内容	ボランティア学習の楽しさ、これからの福祉社会とボランティア
	事前・事後学習	具体的なボランティア団体・組織を調べ、福祉社会への貢献について考える。
14	授業内容	地域における福祉分野のボランティア
	事前・事後学習	自分が住む地域における興味のあるボランティア団体について調べる。
15	授業内容	ボランティア活動の意義と取り組みの総括
	事前・事後学習	総復習する。